

二条院讃岐大賞

一五〇 君の描く画布いちめんの青色にあの日の波のざわめきひびく

福井県鯖江市

中橋陸美

一般の部 小浜市長賞

五八 沖の石を心に浮かべかな文字に讃岐姫のうた丹念に書く

東京都青梅市

荒井千枝

一般の部 小浜市教育長賞

二二八 女の孫は進路のあれこれ話しつつ折り鶴の羽をゆるゆる伸ばす

福井県小浜市

小畑志津子

一般の部 若狭湾観光連盟会長賞

一六 消防署に勤めし息子は一回のケイタイの音に飛び起きてゆく

福井県敦賀市

一島保子

一般の部 福井県短歌人連盟委員長賞

今の世の荒きを問えば打ち寄せる波は静かに太古の調べ

福井県小浜市

内田あき子

一般の部 小浜市歌人協会会長賞

幼子の小さくなれる夏の靴反せば去年の砂こぼれたり

福井県小浜市

竹村祐美子

一般の部 福井新聞社賞

わが町は昆布の店の多くしてかつては北前船の泊まりしところ

福井県敦賀市

興法恵

一心にスマホを見つめ人混みは無表情にて孤独が歩く

福井県福井市

天谷保子

一般の部 優秀賞

絵日記の児この向日葵はゴッホより大きく大胆動き出しさう  
ふるさとの琴引浜に佇めば波の間に間に父母の声  
海の辺の棚田にキャンドル灯りゐてさざ波寄すがに父浮かびくる  
田鳥の漁場で採れし春鯖は秘伝の味で漬け込まれゆく  
十余丁納屋に残れる長鎌は父精出しし下刈りの鎌  
とつぷりと夕かげ迫る鞆たづなの揺れを残して子ら帰りゆく

一般の部 佳作賞

影追ってひよろひよろ歩いてゆく幼おとこな西陽どつかと背中に背負い  
突然に切れし念珠は束縛を解かれ転がる思ひ思ひに  
足早に地下街通る人の群れ特売場に波の如く寄る  
本堂の観音菩薩の目差しに夏至の夕かげ届きてゐたり  
筍は獣に食べられ裏山に鬼皮のこしあるがままなり  
揃ひゐる三十二本はわが齒なり八十五歳けふ誕生日

京都府舞鶴市 安久菊枝

福井県敦賀市 岡田節子

福井県若狭町 井上弘子

福井県小浜市 平田卿子

福井県小浜市 大江青流

福井県大野市 岩崎武志

福岡県八女市 内藤賢司

福井県小浜市 落谷美予子

福井県小浜市 山本保子

福井県小浜市 杉崎康代

福井県若狭町 岡本小百合

福井県敦賀市 矢部田鶴子

棚田よりはるかに見ゆる沖の石波の音にも縁を感じず

福井県小浜市

橋本鞠子

民宿の軒を連ねる路地路地に油のやうな夏の潮照る

福井県小浜市

信谷冬木

寄す波の引きゆく時に力あり砂利を浚ひて鳴りつつ返す

福井県小浜市

池田和栄

家族皆田植に精出す三連休レジャーに勝る会話がはずむ

福井県小浜市

泉本光彦

窓を開け床につきたる幼わらわらのはしやぎは止まず蚊帳の波打つ

福井県敦賀市

永田弘子

嫁ぎ来て十年日記は四冊目我の生きざま十五センチに

福井県小浜市

中野裕子

足羽山階段のぼる園児らは紫陽花の花に見え隠れして

福井県坂井市

尾崎登

百ももえ重なす田烏湾の細波は讃岐の姫の衣摺れの音

福井県越前町

神内八重